

令和2年度 まちかどミーティング町内会からの要望事項

大成町・光洋町地区

令和2年10月20日(火) 日吉総合福祉会館

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
1	<p>【鉄南地区コミュニティセンター建設要望】 日吉町町内会</p> <p>苫小牧市のコミュニティセンターは、すべて鉄北地区に集中し、従来は車等で訪所し、施設活用致して参りましたが、近年は地域住民も高齢化し、施設活用は皆無状況です。また、町内会が所有する町内会会館も築50年経過し、改修並びに建て替えは不可能な、財政状況にあります。</p> <p>よって、鉄南(光洋・有明・日吉・糸井西・糸井南)地区住民が安心して活用できる、コミュニティセンター建設を要望致します。</p> <p>そのことにより、各町内会活動の場所として、災害時の一時避難場所・緊急物資保管等、多目的に活用し地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりに、ご尽力お願い致します。幸いに、日吉・光洋地区にはセンター建設に最適な、市有地健在致しますので特段の、御理解と御協力くださいますよう、お願い申し上げます。</p>	<p>昨年度の町内会連合会からの要望で御回答させていただいたとおり、コミュニティセンター等の新たな公共施設を拠点とした町内会活動については、現状の町内会活動における課題解決を図る上で、一定の効果が見込まれるものと考えております。</p> <p>しかし、本市におきましては「苫小牧市公共施設適正配置計画」、「苫小牧市公共施設等総合管理計画」において、今後の公共施設の在り方について、公共施設の総量の抑制や施設の統廃合やコンパクト化(集約化、複合化等)の推進が示されており、各部局において所管する施設の建て替え、改修等について整備を進めている段階でございます。</p> <p>こうした状況から、新たな施設の設置につきまして難しい状況ではありますが、地域の方々としっかりと意見交換を行ってまいりたいと考えております。</p>	B	市民生活部 市民生活課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反 映 区 分	担 当 部 課
2	<p>【市営住宅建替と再開発要望】 日吉町町内会</p> <p>日吉町・光洋町に所在する市営住宅は、築60年以上経過し老朽化が目立つ状況であり、加えて、入居者数も50%前後で、早期の建替を要望致します。</p> <p>新規物件は、三階建て屋上は陸屋根として「津波災害時」一時避難場所として活用、建物共有部分は、冬期の災害避難場所として従来の建物より広く構築要望致します。また、現在の建物を三階建てにすることにより、遊休地が生じますので若年者に分譲し地域の住民の過疎化防止を要望致します。</p> <p>当地区は、昭和40年～昭和60年代、移住者が多発し、糸井小学校はマンモス校で1学年6～7クラスが、在籍致しておりましたが、現在は1学年1クラスの状況でこの状況が続けば糸井小学校は近い将来廃校の運命です。</p> <p>当地域は、交通アクセスも良く、国道・道道・市道のバス運行・JR糸井駅も近く、糸井小学校・光洋中学校・中央高校・西高校・南高校等、教育機関が近隣に有し、青少年の育成に最適な地域でもあります。</p> <p>当地区の過疎化対策に、早期の行政指導をお願い要望申し上げます。</p>	<p>本年2年3月31日現在、光洋・日吉団地の入居状況は、管理戸数460戸対して入居世帯318世帯で、入居率は、約69%となっております。</p> <p>光洋・日吉団地の整備につきましては、平成30年3月に策定した「苫小牧市営住宅整備計画」では、令和5年度から令和15年度までに96棟460戸の既存住宅を解体し、令和7年度から令和17年度にかけて民間住宅を活用して、3階以上の住宅を含めた35棟269戸を整備する計画となっております。</p> <p>また、施設の構造や避難場所等としての活用については、今後具体的な検討を進める中で関係部局と協議してまいりたいと考えています。</p> <p>あわせて、市営住宅解体後に生じる遊休地の活用につきましても、土地需要の状況等を踏まえ、関係部局と協議してまいりたいと考えています。</p>	B	都市建設部 住宅課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反 映 区 分	担 当 部 課
3	<p>【避難所設備補充改善要望】 日吉町町内会</p> <p>昨今の我々を取り巻く、社会環境・自然環境は極めて殺伐とした事件・事故が多発し、そのしわ寄せは、高齢者や女性・子供と言った弱者に及んでいることに、この国の将来に憂いを感じる者の一人であります。</p> <p>7月4日未明から、九州地方で降りだした雨は7月14日まで連日降雨し、熊本県では、この10日間の降雨量は、熊本県での半年分の降雨量を記録し、予想外の雨量は堤防を決壊し、住宅浸水被害は6,200棟、避難所生活者は1,528名、被災自宅・車中泊者は、1,580名と、過去に例のない大災害が発生致しました。</p> <p>私はテレビから毎日放映される、避難所生活者の現況を注視致しました。避難場所は、学校体育館・公民館、床にブルーシートを敷いた場所で、50年前と何ら変わりない、状況に心を痛めました。</p> <p>高齢者や障害者には、とても耐えられない生活環境です。今やダンボールベットの時代、早期対策が重要と痛感致しました。</p> <p>また、体育館の床対策として、住宅用断熱材(長さ1,820ミリ幅910ミリ厚30～60ミリ)の活用検討すべきと思います。この商品は断熱・保温効果と弾力性を有するので最適です。当地日吉町住民の避難場所は、糸井小学校並びに北星小学校体育館が指定避難所ですが、上記同様、いずれもフローリング床にブルーシート敷きの避難所であります。</p> <p>当地区住民は、高齢者が多くまた、障害者も多く現状の避難設備では避難生活困難です。</p> <p>早期の、避難場所設備の改善をお願い致します。</p> <p>予算上の問題がありますので、毎年段階的に改善実施し避難所モデル地区とし住民が、安全・安心に暮らせる街づくりに、特段の御理解と御協力を要望致します。</p>	<p>避難所の環境整備については、市としても、災害に係る二次被害防止の上で大変重要と認識しており、これまでも断熱効果のある敷マットを避難所毎に約200枚備蓄するとともに、プライバシー確保の観点からテント式間仕切りの整備を段階的に進めてきました。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、有効性が指摘されている段ボールベッドについては、災害発生後に企業から調達する従前からの方法と併せて、現在一定程度の数量をあらかじめ備蓄する準備を進めているところでございます。</p> <p>今後とも、避難所運営に係る最新情報の収集に努め、予算や保管場所確保などの問題を見据えながら、避難所の環境改善に向け取組を進めてまいります。</p>	A	市民生活部 危機管理室

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反 映 区 分	担 当 部 課
4	<p>【あかつき公園改造要望】 日吉町町内会</p> <p>日吉町3丁目に有する「あかつき公園」は、市内でも有数の大きな公園であります。しかしながら、構造的に問題あり、近隣住民の活用は十分ではありません。その理由は、公園中央に有する築山面積が広く、築山の活用は皆無の状況です。この築山を平坦に改造し、子供の遊び場・町内会行事(盆踊り・運動会・自転車教室・ラジオ体操・高齢者の散歩)等、多目的諸行事活用ができるよう、改造くださいますことを、要望致します。</p>	<p>「あかつき公園」は、園路や築山・池等の周囲に景石を並べるなど、特に景観に配慮して整備された公園であり、現在も児童の遠足などに利用されております。</p> <p>御要望の築山を平坦にして多目的に活用する件につきましては、近隣の「日吉運動公園」のグラウンドがございまして、町内会行事等を行う際はそちらの公園を活用いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>今後、遊具等の施設を更新する際には、築山の在り方を含めて町内会と改めて協議させていただきますので、御理解願います。</p>	B	都市建設部 緑地公園課